

サカタニ・友の会

2005年・第7号・Vol.72

とんからりん

2005年7月1日・集・西・楽 (株)サカタニ

075-561-7974fax 075-561-6710

ファミリーマート・サカタニ京阪七条店・075-561-0162

ホームページ・URL <http://www.sosake.jp>

会員の皆さま。集・西・楽・(株)サカタニ

朝粥食べておシャベリ会

7月も定例とおり第3日曜にいたします。
17日(日)9時スタート・終了10時30分
7月17日は祇園祭りの巡幸の日、しかも連休
ですがそれを無視して行います。土用も近いで
すが暑さに負けず「おかいさん」やで～。
参加費 200円(会員さん)300円(会員以外)
必ず前日までにご予約をお願いします。

集西楽サカタニと ファミリーマート

サカタニ京阪七条店の 営業について

コンビニを始める

20年前サカタニビル新築を機会に当社(株)サカタニは「ファミリーマート」に加盟、「酒屋」に加えて一般的に深夜スーパーと呼ばれたコンビニエンス事業を一階で始めました。2階には、それまで酒屋店舗の隣で「東山めん坊」として、さぬきうどんと酒場営業店を共同出資会社(有)酒萬で『萬三』と改名し営業をしました。1・2階共、地域や観光の方々にお引立て戴きお陰で繁盛させていただきました。

10年前酒屋の友人達と将来合併も考えて「お酒の共和国」と社名変更、以後、高齢者で運営の立飲み酒場「アチョボ一号店」コロッケの「アチョボ二一號店」をつくりました。

規制緩和と競争激化 この10年日本は大きく変わりました。バブルが弾け規制緩和競争が激しくなりました。あさひ銀行東山支店跡に「コンビニ」が出来ることが判り、当社の営業は大打撃と判断し、計画予定の内コンビニ店舗改装を2年前倒して実施、赤字部門からの撤収、借金の返済を早め、当社で一番成績の良かった「フェミマ」事業に力を結集しました。「アチョボ二一號店」は親友宇多店長急死で閉店、良い食品の配達事業「べじべじ倶楽部」も本部扱いに移しました。お客様特に「友の会」会員様に、酒食品の販売体制が手薄になりご迷惑を掛けしました。(社名サカタニ戻し、社長交代)

東京貯蓄銀行時代から協和～「あさひ」迄代々主力銀行が地続の礼を失し非常識な土地売却、形振り構わな競合と競争激化はこの国の現状で逃がれることは出来ない極小の当社でも全力

総力で耐え凌ぐだけです。
2階・集西楽サカタニ 競合コンビニ出現でから1年余過ぎ、二階の「萬三」を「アチョボ1号店」の所へ移転して貰い、共同出資処理も終わり(現在の『まんぞう』さんと当社は無関係です)兼ねて計画の2階店舗を集西楽サカタニとして昨年4月2日オープン出来ました。

酒免許の自由化で、ファミマ本部は数年前から酒システムを導入当社にも参加を求めて来ました。ファミマで売る酒は本部指定問屋から仕入れシステムです。当社は「地方名酒」の取扱いを京都で一番早くした店、お酒の低価格商品も提供してきましたから、他のファミマ店より「酒類」の売上が高

1階・ファミマの酒はコンビニ向き小容量酒類が増えます。

2階・「西サカニ」は、京都他各地の名酒・焼酎、ワイン、良い食品を増やします。

い店でしたから導入を拒んできました。しかし最近はやどのコンビニで酒がある状況になり、コンビニ用の酒までつくられたため、本年6月からファミマ本部の酒システムに参加しました。

酒類の売場品揃えの一部変更 1階ファミマでは、コンビニ用の酒類の他当社仕入の酒の一部、又永年お求め頂いているファミマにない優良な調味料、食品も販売します。2階は専門的な酒と良い食品、調味料を販売します。「友の会」の活動とサービスは2階**集西楽サカタニ**が主として受け持ちます。

ギャラリーカフェ集・楽々ホール・酒屋の西をセンターに三つのスペースにファミマを加え共々『サービス向上』に努力します。

会員さんに**「無いと困る」とご評価頂ける店。人々が集え楽しめる場所**づくりに邁進します。更なるご支援をお願いします。

「とんからりん」に掲げている目標に向かい進みます。是非ともお知り合いの方々に「友の会」入会をお薦めください。

7月2日(土)11時～19時

楽々悠々市 開催

ものづくりグループ12名、丹精込めた作品を展示販売します。洋服、ビーズ小物、お菓子、花、帽子など・是非お越しを
問合先・東山民商 541-5116

Relax・10分700円

アロママッサージ体験コーナー・植物100%エッセンシャルオイルでマッサージ。心と体をほぐしましょう!

7月2日(土)15時～17時

歌声喫茶

集西楽サカタニ・
ギャラリーカフェ

参加費 500円

イス席30程度、早い目にお申し込みを。

東山民商 541-5116

又はサカタニ 561-7974

ギター、サクスの生バンド(カクダイズ)伴奏

集

ヨシイちゃんのヒトリゴト

分れ道一步違えば その一・エピローグ

気分的には40才代だが(ド、アツカマシイ?)ヨシイちゃん71歳。マダ男性の平均寿命には大分日数が有る。年数と書かないのが、しおらしく又切ないところ。

「人間(自分)が生きていと事は、誰かさんに、何か、お役に立っているからや」と常々言っていた祖母にスッカリ洗脳されている私。今更グチっても詮無い。前向きに歩こうと思うのだが、この頃は振り返ることも又大切とも思うようになった。

子ども時代、分かれ道で兄弟が左右に分かれ、後、1人は富豪に1人は盗賊になった話を読んだ。

あの時、違う方を選んだら(主体的)或いは選ばれたら(他動的)今の私はない。そんな分かれ道に何度も遭遇している。誰でも幾度か経験したことだと思うが私にはそれが多し。

幸いなことに、何時も土壇場でよい道を選んだし、選んで呉れて今がある。時たまに、違う道へ行っていたらと感傷的になり、後悔しないでも無いが、ドコデモドアのない私では、歴史は戻せない。

JR 福知山線の事故では、数秒差で生死が分かれた人も有ったとき。過ぎた時間は一秒でも戻せない。

未来は1秒先も判らない。だが、可能性は常に未来にあると自分に言い聞かせアキラメズ前に歩くしかない。只、幾つかの分かれ道での判断とその経緯経過と経験が私であり私のアイデンティティでもある。

特別の能力も、地位も、金も無し生まれてから今までいつも酒と関わって生きてきた、しょうもない男の「分れ道」の話。読む人なんてあらへんと思うのだが、「ヨシイちゃんのヒトリゴト」も種切れ近しで(連載で)書くことにした。エピローグが長くなって今号では

犬は神様： ただ聞くという

友人のS氏がケメコ通信というメールマガジンを出している。新聞記事で、これはと思ったことや、日常身の回りに起こったこと、自分の仕事や催しの紹介など毎日欠かさず送ってきてくれる。現在1400号を超えるその通信に、私は最近出会った。その中で、興味を持ったものを紹介したい。

友人の奥さんが犬を散歩させていたところ、通りがかった年配のおばさんの足元にじゃれついた。おばさんは無表情に「私、犬が嫌いなんです」といった。奥さんは犬を引き離そうとしたが、言うことを聞かない。するとおばさんは「嫌いっていうより、いい思い出がないから」と犬の頭をなでて話した。

「私の主人は体が不自由なの。10年前に倒れた時、犬を飼っていてね。夫の介護で満足に世話をしやれなかったの。結局お荷物になっちゃたのね」

おばさんは今も介護に追われていること。今日は夫のパジャマを買いに久しぶりに外出したことなどを問わずに語りに語った。奥さんは相づちを打ちながら、自分も少しやったことのある介護体験の話をして元気づけようとした。しかしおばさんは関心を示さず、さらにあれこれ語って「ごめんなさい。見ず知らずの貴方にこんな話しをして」と立

本題には入れなくなった。

自分でも判っているシツコイ、悪い性格、ホギヤと生まれた時は、イニシャルイズ(初期化)だけされ綺麗な状態だったはず、分れ道を幾つか経てヘンテコ人になったのか?

父母、祖父母、大祖父母と数代さかのぼると42億6千4百万人先祖になるとか。アメンバーから人間、私に至るまでの何千兆という遺伝子の中に有った一つの因子のせいかも判らない。人類みな兄弟は本当とこれを書いていて理解できた気分。今回はこれまで、次回は「臍の緒」と題して書こうか。

ち去ろうとした。その時、奥さんの腕におとなしく抱かれた犬が、おばさんににじり寄って手をペるペるとなめた。おばさんは思わぬことのように「ありがとう、ありがとう」と声を上げた。犬の手をとって「ずっと私の話を聞いてくれていたのね。何か胸がすーっとして、気持ちが楽になったわ」と晴れやかに笑った。出合った時とは別人のように穏やかな表情になっていたようだ。

私も何年か前まで犬を飼っていたことがある。娘が小学校の低学年のとき、近所で子犬が何匹か生まれ、娘にせがまれて「見に行くだけだよ」と約束して行ったが、帰り道の自転車のかごには生後3週間ぐらいの雑種の犬が入っていた。私自身、幼い頃に何回か犬にかまれた経験があるため、それ以来犬との相性は悪かった。しかし飼って見ると本当に良かったと思うことがたくさんあった。子供や妻が忙しくて振り向いてもくれないとき、犬だけは裏切らなかつた。どんなときでも尻尾を振り、手をペるペるなめ愛想をしてくれる。

何年間か我が家の一員として暮らしたその犬も、おとしの12月にあっけなく他界した。

「GodをさかさまにすればDogだ」といった人がいるらしいが、上記のおばさんにとってはまさに「DogはGodだった筈だ」私もひと言多いと自分でも思うときがある。犬を見習って聞き上手になりたいものだ

第8回

朝粥食べおシャベリ会

7月17日(日)開催

(必ずご予約下さい)

朝9時~10時30分

会費300円会員様200円

集re喫茶ルーム

9時20分以後は入場出来ません。

ご予約の締切りは前日

午前中にお願ひします。

075-561-7974 迄

遠方から来た厚かましいが スゴイ！同居人

今年の5月ごろから、2階と3階の中間にいつの間にか夫婦らしい同居人が住むようになりました。権利金も取らず、家賃も無しですがまあ、使っていない所で大して邪魔にならないのとそのまま居住を黙認していたのです。暫くすると夫婦が力を合わせて子どもが生まれても何とか住める部屋を作り上げたのです。最近泣き声がするのでみると子どもが来ているのです。トイレまで手が廻らなかったのでしょうか、住まいから汚物を捨てて困っています。心やさしい家主は諦めています。相手が燕では仕方が無いでしょう。

彼らの住いは集西楽に上がる階段の上にあります。お出入りのとき、糞が掛かったら、即宝籤を買うべし。「ン」が付いて、当たるかもね。

60年以上前の戦時中から、敗戦後昭和30年頃まで、店の軒先に毎年春の終わりに来たツバメが巣をつくり、雛を産み育て秋に南方に帰るを繰り返していました。ツバメは「益鳥」だから大事にしてあげなアキマヘンと婆さんが下屋に巣がつくり易い様に板を打ち付けていました。ゲン（縁起）がエエ鳥やし、と言いながら糞で汚れた軒下を掃除していました。諺の「燕が作ると家は繁盛する」を知っていたのです。のん

びりした時間の有った時代です。

その頃から今年まで私の周囲では色々なことが起って燕のことなど気にも掛けていませんでした。気が付くとツバメや雀の姿が随分は少なくなり、鳥が目立ちます。今流に言うとかラスは勝ち組でライブドア、ツバメや雀は負け組みで酒屋かなあです。

近頃は、益虫のトンボも見ないし、夏に蝉の声も静かです。

蝉鳴かずとんぼも見えず芭蕉泣く。燕夫婦が交代で卵を温め続け、梅雨入りの前、雛が4羽孵りました。親燕はかわるがわる餌を運び、子燕たちは親燕が見えると、一斉に奇声を上げます。親は子燕に順番に与えています。

食べるを出します。子燕も巣からお尻を出して「糞」を飛ばします。

さて、さて・・・ どの学校？

皆さんに答えを求める「ナゾナゾ」では無い。回答者がお一人と言う「ナゾナゾ」を経験して「糞にこりて、なますをふく」状態だし、偉そうに教育論を述べる資格も無い。只、この頃の子どもの関係する事件、小学生が殺人、高校生が手投げ爆弾を教室に投込む。それがアメリカでもイラクでもないこの日本で起ったのだから、何処か、何かの間違っている様だ。学校の先生の教育や制度が悪いと

「糞害」がお客さんに及ばないかと糞の飛ぶ位置を父と娘で見ているのですが、櫛の葉が茂っていて先ず大丈夫と思っています。

娘が「巣の中でせず外にだすトイレのしつけをどうやって教えたんやろ」と感心していました。僅か手のひらに入る程の大きさで何千キロも自力で飛来する不思議と、子燕と共に南国に飛びに帰る方法をどのように教えるのか、同じスズメ目の鳥類だから、スズメの学校で教育されるのだろうか？など興味深々でありました。

6月22日4羽の雛は「巣立ち」今はまだ近くの電線に止まり、親燕から餌を貰っていますが、完全自立はもうスグでしょう。巣は大事に残して置くから、来年も来いよ。と家主は声をかけています。

言っている先生方も多いが、1億円を貰って忘れる、女性問題や借金で報酬差押えされる先生方が偉そうに言えるか！と言いたい。小学校と保育園に通う孫がいるがお友達も含めてみんな良い子可愛い子たち。何で残虐非道な子になるの。先日親戚の法事で、先生を目指し大学院へ通う娘さんがいた。どのような先生を目標にしているのと聞くと、その父上が「×××学校の先生」はなるかと忠告したと言う。

～ の内の1ツ

スズメの学校。 メダカの学校。 やまびこ学校。 寺子屋

×××学校名は？そして理由は？ 8月号にその父上の忠告を発表する。

汎具象美術協会会友 岸本祐子油彩展

夏のプレリユード

～7月22日迄

時・10時30分 18時まで
鑑賞無料 集re 喫茶ルーム
絵画暦 15年岸本祐子さんの
「アジサイやバラ、
トルコキキョウなどの油絵
とポルトガルのスケッチ
など展示」展示品販売も可

お知らせ 7月の「催事」など

音の風 音楽茶会

日・7月24日(日)19時30分～
会費・500円 1ドリンク付
・集re 喫茶ルーム

桃谷好英・・・集re 喫茶ルーム

すばらしき折り紙の世界展・
7月23日(土)～8月21日
10時～18時入場無料 (貸切時入場不可)

第4回・こころ坂

楽々落語会

7月29日(金)開催
19時～21時(開場18.30)

楽々ホール

出演(チラシ同封)
桂 佐ん吉・桂 米吉
桂 米二
前売1500円当日1800円
サカタニ 561-7974 迄

地図カンバン物語

ひっちょうどおり
第10話 七条通

「まるたけえびすにおしおいけ
あねさんろっかくたこにしき
しあやぶったかまつまんごじょう
せったちゃらちゃらうおのたな
るくじょうさんてつとおりぬけ
ひっちょうすぎればはちくじょう
じゅうじょうとうじでとどめさす
丸竹夷二押御池姉三角蛸錦
四綾仏高松万五条
雪駄ちゃらちゃら魚の棚
六条三哲通りぬけ
七条過ぎれば八九条十条東寺で
とどめさす

京都では平安京以来洛中の通りの
名前を歌にして覚えた。上は東西
の通りのものである。今、雪駄屋町
通りは無く、東寺は通り名ではない。

七条通 = (正式は^リ無し)は最近
「ナナジヨウ」とか「しちじょう」と
読む人が多いが、大昔(僕高校生ころ)
までは「ひっちょう」と言うのが主流
だった。京都弁は質屋をシチャと言
わずヒチャと言うのと同じ理由だ。

最近入手した明治 43 年発刊の
「平安年中行事記」笠原鴨涯(祖母の
兄)著の附録地図には京都駅を「七
条すてんしょん」と書いてあり、京
阪は天満から五条まで、東海道線は
稲荷経由となっている。伏見町(昭
和 10 年?京都市併合)には大日本
帝国陸軍 16 師団があり、師団街道
が鴨川に沿ってつくられていた。

大正 2 年(1913)4月14日工費
18万2千円(内両側の欄干 = 高欄
が1万3千円)の大金?をかけた七
条大橋が完成し、渡初めが盛大に行
われた。橋は戦車が通れる強度があ
り、以後数度の鴨川洪水にも耐えた。
残念ながら大金を投じた欄干は 62
年前兵機器に化け(馬鹿見たい)昭
和 50 年までオソマツな木製だった。

昭和 63 年京阪地下化に合わせ、
「観光京都の玄関七条は忘れられ
ている」と題した「ビデオ」を製作し
て七条通改修を行政に要望、歩車道
とも改善された。
鴨川から東の七条通附近は「風致地

区」と指定され、嵐山、岡崎付近と
同様に建物、広告に厳しい制限があ
る。さりながら七条通だけ今も電柱、
電信柱がニョキニョキと生えている。
突き当り智積院、両側に国宝三十三
間堂、国立博物館があり、東山阿弥
陀峰の美しい姿を無粋な「蜘蛛の
巣」がささげる。四条通、お池通り
京大前の東大路、醍醐の外還附近は
蜘蛛の巣はない。「風致地区」とは
チャンチャラ可笑しいと思っている
のは僕だけかなあ。アツ又悪い癖が
出た。話を変えよう~と。

後白河上皇が永暦 2 年(1161)か
らとして院政拠点として使われて
いた「院の御所 = 法住寺」が NHK の

駱駝は
まだ眠っている

1974 年頃、烏丸今出川の交差
点を西へ入った薬局の 2 階に『駱駝
館』という喫茶店がありました。
建物は今も残っていますが、当時は
学生街の喫茶店としてにぎわって
いました。学生だけでなく、フォ
ークシンガー、作家、写真家、市民運
動家など個性的な人々が入り出
して、その多くは組織や会社に属
さずに生きる道を探そうとしてい
る若者たちでした。今でいうフリー
ターやニートと少し違うのは、ベト
ナム戦争終結直後という社会背景
もあって、意識的にルールを外れ、
社会体制に異議を唱えようとする、
積極的な姿勢があったことです。

長髪にジーパン、酒も煙草も音楽も
小説も、単なる娯楽ではなく一つの
主張でした。何者でもない、小汚い
なりをした若者たちは、今にきつと、
と誰もが思っていました。自分自身
も未来も、今よりきつと良くなると。

それから三十年、殺伐とした事件
が後をたちませぬ。ことに子どもた
ちが引き起こす犯罪は、人間の根底
まで揺るがすほどで、戦時中よりも
今の時代のほうが悪いという声も
ききます。何が、子どもたちや世
の中を変えてしまったのでしょうか。
本当に、変わってしまったのでしょ
うか。

「義経」で木曾(源)義仲に襲撃放
火する場面が放映された。それは寿
永 2 年(1184)11月19日のこ
と。法住寺は姿を変えて今もある。

そして「忠ならんと欲すれば孝な
らず」と父平清盛と後白河上皇のは
ざままで悩み早死した重盛(長男)の屋
敷「小松殿」は、現京都専売病院の庭
「積翠園」がその一部として残っ
ていると言われている。

この東山七条辺りは、岡崎以上に
古都京都の誇れる地域といえる。
この町で育ち住み商いをする身を
喜び、景観がより良くなると信じたい。
看板物語次回は地域で繁盛され
ているお店。次々回(12 回)は我が母
校で今は校区名で残る「貞教校」と
したい。連載はそれで「をわる」

『駱駝館』でアルバイトしていた
私が、当時を舞台に『駱駝はまだ眠
っている』という青春小説を書き、
今回かもがわ出版から出していた
だくことになりました。当時若者だ
った方も、今の若い人たちにも読ん
で頂きたいと思っています。
そして、変わってしまったものと、
変わらないものをもう一度見つめ
てほしいと願っています。

砂岸ある

『駱駝はまだ眠っている』
砂岸ある 著
かもがわ出版 1600 円(税込)
書店にて発売中・
集 re サカタニで取扱っています

ヨシィちゃんはビックリ!

1974 年 10 月 1 日、現在地で、ワイン&
フーズサカタニを開店し、その直後知人
に新開店の『駱駝館』をご紹介されお取
引を頂きました。
納品のとき髷面で顔は怖いがやさしいマ
スターに色々とお世話になりました。
朝、中央市場でバイトもしていると言っ
ていたその髷さんが市議員になるとは、
左京区選出鈴木正穂先生のことです。
当時「砂岸ある」がバイトしていたこと
も覚えてなくて、今回「本」出版で縁の
不思議、出会いの機微を感じます。
「砂岸ある」は、弟の常務酒谷宗男の妻、
酒谷佳子なのです。ビックリや